

株式会社朋栄は、2021年に本社移転をした株式会社GSTV様の新社屋スタジオ設備として、

CG/テロップシステムには、12G-SDI対応キャラクタージェネレーター(送出機)「VWS-1000」をはじめ、4K/HDキャラクタージェネレーターに「EzV-300」、ビデオサーバーシステムにマルチチャンネルビデオサーバー「MBP-1000VS」を、ファイルベーストータルソリューションに「MediaConcierge」、スケールアウト・プロダクションサーバーに「EditShare EFS」を、それぞれ活用しています。

GSTV様は、宝石専門チャンネル『ジュエリー☆GSTV』を製作しています。2022年3月1日より新本社スタジオの運用を開始し、毎日朝8時から深夜2時までの生放送と、深夜2時から朝8時までのリピート放送を行なっています。



上)『ジュエリー☆GSTV』のテロップは製品情報から自動生成
左)実際に活用頂いているテロップ送出現場の様子

商品情報入力とCG/テロップ制作を連携

テキスト情報から自動生成し、放送時の省力化、ミス軽減を実現

■CGテロップシステムにVWS-1000/EzV-300を活用

GSTV様は、旧社屋が手狭になってきた事と、スタジオ及び設備の強化には機材の大掛かりな更新が必要になったことから、2018年頃より移転を計画し始めました。

2020年に東京品川近くの天王洲に移転先が決まった後、GSTV様から伝えられたスタジオ設備のコンセプトをもとに各種システム提案を行いました。2021年を通じて打ち合わせを重ね、システム関係の工事を12月に開始。テスト運用を経て、2022年3月1日より運用が開始されました。

旧有明社屋においても使用して頂いたCG/テロップシステムは、移転先でも導入いただきました。今回の導入理由としてテレビ技術部 渡邊茂久様は次のように話しています。

「理由は3つあり、1つ目が安定した信頼性の高いシステムです。有明のスタジオでも使用させていただきましたが、導入後に機材的なトラブルがなく運用が続けられた事は大きな決め手となりました。そして2つ目が、GSTV独自の放送スタイルに合わせカスタマイズされたソフトウェアを、特注にて開発していただけたことです。とても柔軟に対応いただき、非常に満足しています。3つ目はエマーゼンシー

(予備)対応です。スタジオを1つしか作らないので、どこまでエマーゼンシー(予備)を構築できるかがポイントでした。現在はここが動かなくなってもこっちで対応できる、こっちも対応できなくなった場合はこっちで対応できるというように、3重〜4重の予備を組んでいます」。

■MediaConciergeと連携し、商品情報からテロップを自動生成

また、GSTV様ではジュエリーのショッピングチャンネルの番組製作のほか、番組中に使用されるジュエリーの商品映像やロケ映像等も自社で制作をしています。これらの商品情報や映像素材はMediaConciergeを活用して管理しています。TV技術部 TV技術課 谷田部剛志様は次のように話しました。

「MediaConciergeでは番組素材映像の管理だけでなく、テロップに表示する商品データも登録・蓄積をしています。そして、テロップ情報と紐付けて、送出するテロップ素材を自動生成する事によって放送上のミスを軽減する工夫を行っています」。

渡邊氏は今後の展開として、朋栄のテロップシステムを導入して旧社屋時代から数えると約6年使用しているので、CGデザインを一新する事を検討していると話しています。



谷田部 剛志様 渡邊 茂久様

「現状のCGデザインは視聴者、購入者の年齢層が高い事もあり、あえてシンプルなデザインにしていますが、伝えたい情報を伝えきれていないのも現状です。見慣れたデザインを変えるのはリスクを伴いますが、今後1年間かけて検討していきたいです。

さらに、スタジオサブをもう1つ作る事も検討しています。今回の新設備ではサブを2つ作る事を計画をしていましたが、予算や運用までのスケジュール等で断念しました。今後、YouTubeの番組収録や、メインサブメンテナンスの際に活用できるサブ構築を目指していきます。」(渡邊氏)

【ご活用いただいている主な機材】テロップ送出機VWS-1000 キャラクタージェネレーターEzV-300 ビデオサーバーMBP-1000VS 送出管理ソフトMediaConcierge

取材協力： 株式会社 GSTV 東京都品川区東品川 2-2-43 T2 号棟 1 階 WEB: <https://www.gstv.jp>

お問い合わせ： 株式会社朋栄 東京都渋谷区恵比寿 3-8-1 TEL: 03-3446-3121(代) WEB: www.for-a.co.jp E-mail: ad@for-a.co.jp

ご協力いただいた皆様の部署名、お役職は、インタビュー当時のものです。(2022年4月取材)